

## 受賞者

磯橋 藍  
大阪大学

## 第1回土肥賞 / DoiAward

プラナリゼーションCMPとその応用技術分野における若手研究者育成のため、当該研究分野における優れた若手研究者を表彰するための「土肥賞」が創設されました。栄えある第一回の受賞者として、ICPT2014にて新しい研磨技術に関する発表を行った、大阪大学の磯橋藍さんが選ばれました。

## アウトリーチ活動(社会への貢献等)

1) 研究代表の土肥先生が、NHKテレビの番組(超絶・凄ワザ!)の監修(本プロジェクトにも関係する超精密研磨に関する2つのテーマ)をされ、千原ジュニアさん、池田伸子アナウンサーとともにテレビ出演し研磨技術について解説されました。研磨は職人技のところもある非常に難しい技術であるが、いつの時代でも超精密研磨がいろいろの場面で応用され産業を支える不可欠技術であることを強調・説明され、大きな反響がありました。(2014年7月14日、7月21日放映)

2) 本研究プロジェクトに関する記事が、月刊トライボロジー誌、精密工学会・プラナリゼーションCMPと応用専門研究会誌、Electric Journalなどにもトピックス的に紹介され、各界から注目されている。事実、いろいろな機関(中国、台湾、アメリカなど)から招待講演の依頼が来ている。

3) An International Journal on Sensor Technology "Sensors and Materials"誌に、本プロジェクト主管で特集号"Special Issue on WUPP for III-nitrides"が発刊されました。巻頭言(Preface)を本プロジェクトの研究協力者・曾田英雄さんが執筆されております。



## 研究組織

## 研究代表

土肥俊郎  
九州大学産学連携センター  
特任教授(九州大学名誉教授)e-mail :  
doi@astec.kyushu-u.ac.jp

## 共同研究者

佐野泰久  
大阪大学大学院工学研究科 准教授e-mail :  
sano@prec.eng.osaka-u.ac.jp黒河周平  
九州大学大学院工学研究科 教授e-mail :  
kurobe@mech.kyushu-u.ac.jp

## 連携研究者

大西 修  
宮崎大学工学教育研究部 准教授畠田道雄  
金沢工業大学工学部 教授

## 研究協力者

曾田英雄  
並木精密宝石(株)NPJ 研究所長  
九州大学産学連携センター 特任准教授併任

## 文部科学省科学研究費基盤研究(S)平成24年度～平成27年度

究極デバイスとしてのダイヤモンド基板の  
革新的超精密加工プロセスへのブレークスルー  
*Breakthrough in the ultra-precision polishing process of diamond substrates as an ultimate device*URL: <http://astec.kyushu-u.ac.jp/doi/>

キーワード:  
超精密特殊加工、超難加工材料、CMP、化学機械研磨(CMP)、  
P-CVM、プラズマ融合CMP、Plasma Fusion CMP、  
疑似ラジカル場、Pseudo-Radical Site、Femtosecond (FS) Laser

Newsletter No.2

## はじめに

佐野 泰久 (Yasuhisa Sato)  
大阪大学・大学院工学研究科・准教授

ニュースレターNo.2をお届けします。

思い返せば、2009年2月に大阪大学で開催した大阪大学グローバルCOE「高機能化原子制御製造プロセス教育研究拠点」第1回国際シンポジウムにて土肥先生に招待講演をお願いしたのが、土肥先生とのお付き合いの始まりだったように思います。その後、色々な研究会に呼んで頂いたり、様々な情報交換をさせて頂いたりするようになり、いつか何か一緒に仕事ができれば良いですね、という方向へ発展していきました。初めは確か科学研究費補助金「挑戦的萌芽研究」への応募から始まったと思うのですが、不採択になる度に研究内容も申請金額もバージョンアップしてゆき、平成24年度に基盤研究(S)として採択されるに至りました。私は元来、新しい加工法の提案や加工装置試作は大好きですので、「革新的CMP/P-CVM融合加工装置」開発はとても貴重な経験でした。しかしながら、もしかするとそれ以上に、本プロジェクトに関わる様々な人との出会いが貴重な財産かもしれないと思うようになってきました。土肥先生のユニークなところは、人と人とうまく結びつける能力に長けているところだと最近つくづく感じております。

本プロジェクトはあと1年少しで終了の予定ですが、本プロジェクトを通じて知り合った皆様とはプロジェクト終了後も是非お付き合いさせて頂き、第二第三の共同研究プロジェクトを実施していけるようになれば、と思っている次第です。

残された本研究期間、そしてその後も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 事務局からのお願い

本研究に関する広報と共同研究者らの間の相互理解、社会の皆様への理解と還元を目的として、ニュースレターを適宜発行します。今回は第2号として研究と活動状況を中心に紹介しましたが、本プロジェクト内への情報などについても今後掲載していきたいと考えております。ニュースレターの充実のための各メンバーの皆様からのご意見をお聞かせください。

発行：文科省科研費 基盤研究S「革新的超精密加工プロセス」総括事務局  
九州大学筑紫キャンパス C-Cube 608 号室

連携・広報担当事務/松永洋子  
電話 (092)501-8570  
E-mail : [matsunaga@astec.kyushu-u.ac.jp](mailto:matsunaga@astec.kyushu-u.ac.jp)